



道農連 2020年12月の月間活動トピックス

2020(令和2)年12月28日発行(第94号)

HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416

全道地区・市町村組織委員長会議をリモートと併用で開催

道農連は12月23日、京王プラザホテル札幌で全道地区・市町村組織委員長会議をリモートと併用で開催した。第1部として元文部科学事務次官の前川喜平氏を招いた農政研修会を開催し、第2部では全道委員長会議による2020年度運動経過報告が行われた。

農政研修会において前川氏は、「現政権の問題とは」と題した講演を行い、市場原理を強いる新自由主義は農業には適さないなどと述べた。一方、委員長会議で中原書記長は、新型コロナの影響により組織活動の縮小等を余儀なくされたが、農水省へのリモート要請など時代に合わせた運動を展開してきたことを報告した。また、今後もコロナ禍が続いても運動を停滞せずに取り組んでいきたいと強調した。

なお、リモート開催は道農連初の試みであり、動画配信サイト(YouTube)にて組織内限定でライブ配信し、多くの盟友が視聴した。

米の消費拡大等を目的に札幌市へお米を寄贈

道農連は12月23日、札幌市へお米500kg(ななつぼし5kg×100袋)を寄贈し、これに対して町田隆敏札幌副市長より西原委員長へ感謝状が手渡された。この取組みは、米の需給が厳しい環境下、北海道米の消費拡大及びPRに加え、コロナ禍で疲弊している中、美味しい北海道米を食べて元気になってもらうことを目的に実施した。

なお、寄贈したお米は、市内10カ所の児童養護施設と母子生活支援施設に活用される。

第6回執行委員会を開催

道農連は12月22日、第6回執行委員会を開催し、2020年度の運動の対策経過と今後の対策課題のほか、2020年度会計決算見込や2021年度会計予算案などについて協議した。そのほか、国が閣議決定した2020年度第3次補正予算と2021年度予算の内容を説明した。

また、道農連の第48回定期総会を2月15日(月)13時30分~16日(火)正午までの日程で、共済ホールにて行う予定としつつ、新型コロナの感染状況などを踏まえながら開催方法等を検討することとした。

12月の活動記録(上記以外)

- 4日 合成洗剤追放北海道連絡会第2回運営委員会
- 8日 第1回組織・財政委員会
- 15日 道農業再生協議会第2回水田部会

1月の活動予定

- 8日 三役会議
- 15日 書記長・事務局長会議、第2回役員選考世話人会
- 19日 会計監査
- 22日 第7回執行委員会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局(TEL011-241-5416)まで。